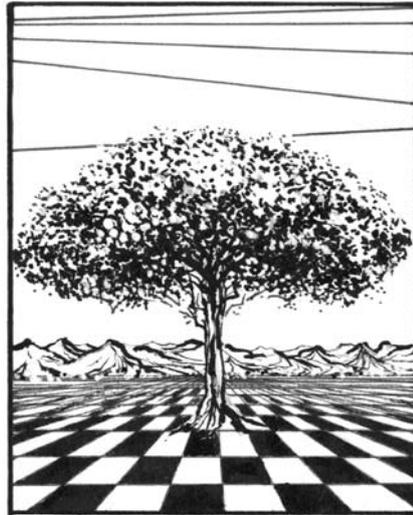




カトリック町田教会
町田市の中町 3-2-1
電話 042-722-4504
FAX 042-722-4512

いかにずちの子

<http://www.machida-catholic.jp/>



主なる神は、東の方のエデンに園を設け、自ら形づくった人をそこに置かれた。

創世記 2. 8

春の恵み・神の恵み

主任司祭 小池 亮太

急に暖かくなって一気に咲いたソメイヨシノが散り始めると、東京は「花冷え」というには寒すぎる日が続き、雪まじりの雨も降りました。しかし、春が確実にやって来ている事は、木の膨らんだ新芽を見るとわかります。これから「春の恵み」、山菜の美味しい季節です。

春になって気温が上がってくると、人の身体は新陳代謝が活発になり、冬の間ため込んでいた老廃物を排出しようとして溜まっています。溜まってしまうと、心の中にも老廃物や毒素のようなものが知らず知らずのうちに溜まってしまいます。したがって、それを心の外に出す必要があります。心の老廃物を排出するために一役買うもの、それは自分にとって苦難や試練、あるいは失敗と感じる「苦しい体験」ではないでしょうか。しかし、「苦しい体験」は自分から欲しがらるものではなく、自分にとって必要なものとは思えないものです。しかし、すべてを知っている神は、春に「苦しい山菜」を用意したように、その人に

いと感じないのに、春になると「苦しい山菜」を食べたいと思ひ、その苦味を美味しいと感じます。「春になったから、不味いけれど苦しい野菜を食べて冬の間溜まった老廃物を身体の外に出さなくてはならない」と頭で考えて、山菜を食べるのではないのです。身体はその時に必要な物を知っていて、身体が求めるからこそ山菜を食べたいと思ひ、美味しいと感じるので、よく考えてみると、身体が必要としている物が、必要な時期にあるというのは不思議です。「神の恵み」とは、まさにこのような事を言うのでしよう。

さて、身体の中に老廃物が溜まってしまいうように、心の中にも老廃物や毒素のようなものが知らず知らずのうちに溜まってしまいます。したがって、それを心の外に出す必要があります。心の老廃物を排出するために一役買うもの、それは自分にとって苦難や試練、あるいは失敗と感じる「苦しい体験」ではないでしょうか。しかし、「苦しい体験」は自分から欲しがらるものではなく、自分にとって必要なものとは思えないものです。しかし、すべてを知っている神は、春に「苦しい山菜」を用意したように、その人に

必要な「苦しい体験」を、時に適って与えます。それは「清めの体験」とも言えるでしょう。自分の中に蓄積され澱んだもの、片付けなければ次に進めないもの、それが神の与える「苦しい体験」によって取り除かれるからです。しかし、「苦しい体験」の意味を知るのは後になってからです。身体は良い状態にするために必要な物を知っているのです。喜んで必要な物を選び取ることが出来ます。しかし、心は自分の思いや自尊心などが邪魔をして必要な物が分からず、必要なものを与えられず、必要なものに必要なものとして受け取ることが出来ないからです。しかし、「苦しい

運営委員会議長になって

運営委員会議長 立木 欣吾

新年度議長の立木と申します。この一年、よろしくお願ひ申し上げます。

議長は二〇一一年度に続いて二回目です。運営委員会と関わりができたのは、洗礼を受けた翌年、二〇〇九年の秋でした。洗礼を受けた当初の緊張感が薄れ、仕事の忙しさもあつてか、教会から足が遠のくばかり。支えにしていた信仰心も無くなってしまつてはいないか？ と内心焦つていました。

「体験」の意味をその人が理解した時、それが「神の恵み」だった事に気がつきます。自分の身体と心が求め、必要としているものが何であるかに耳を傾けること、自分に必要な出来事を与えている神の声に耳を澄ますこと、どちらもう人がいきいきと生きてゆく上で大切で必要なことなのだ……。復活祭を喜びのうちに祝った後、休みを取って訪れた温泉の露天風呂に浸かり、灰色がかつた薄緑の小さな葉が一斉に芽吹いた木々の枝に溜まって鳴き交わしている小鳥たちの澄んだ鳴き声に耳を澄ませながら、そのような事を考えていたのです。

その頃、案内のとりまどめをしていく方から、運営委員をやってみないかと声を掛けられました。運営委員になれば教会に行くことが増えるだろうと、二つ返事でお引き受けしました。運営委員になつた動機はいささか不純であつたかもしれせん。

運営委員になつた初年度は先輩の後ろにくっついていただけでした。それでも、教会に心を開いて話せる友人を得たことは大きな喜びでした。

二年目は議長になりました。議長になると、どうすればいいのかわからず右往左往するばかり。皆さんに助けてもらい、一年を終えた時は安堵を覚えたものです。

それから二年が過ぎ、昨年再び運営委員に。細則の見直しにより、専門委員長を除いた運営委員の数は半減してしまいました。人数が減って忙しくなるといふよりは、意見が言い易くなったというのが実感です。

そして今年、議長になりました。意見の調整や人前に立つことが苦手で、最近では病気がち。一年をやり通す自信はありません。しかし、教会で他のいろいろな役割をされている方も、仕事や家庭、病気など事情を抱えて頑張っているのは同じだろうと思います。

幸いにも、今の運営委員には忙しい時でも、お互いにサポートし合う空気があります。ですから、何とかなさ、と楽観しています。もちろん、運営委員の方だけでなく、多くの信徒の方に平日頃支えてくださることを心からありがたく感謝しています。

これからの教会は高齢化や増加する外国人信者の方への対応など、取り組まなければならぬ課題が山積みです。どんな立場であれ、苦しいこ

とや悲しいことがあっても教会に行けば穏やかな気持ちになれる、そんな教会であってほしいと願っています。

運営委員になる前、運営委員になれば少しはマシな人間になるかと期待していましたが、それは叶う筈もありませんが、運営委員として重ねてきたこの数年は、町田教会を心の故郷であるかのような豊かな時間をもたらし続けています。

四旬節黙想会

澗 敦子

四旬節第一主目、SJバレンティン・デ・スーザ神父様の御指導の下に行われた。

姿勢を正し、目を瞑り、呼吸を調べ、心と身体を静かにするよう促され、祈られた後講話を始められた。「イエス様、私達一人ひとりの命はあなたから頂いたもの、この命を大切に、個人の歩みをあなたの手の平に刻んで下さい」

四旬節は今一度原点に立ち戻り、出発するよう招かれている時。神様が一人ひとりに命を与え、任務を与え、今ここにこうして招かれている。

これに気付き悟った時、人生の歩みは変わる。あなたがいることが神様からの贈物。あなたが神様に向かう事があなたから神様への贈物。神様は



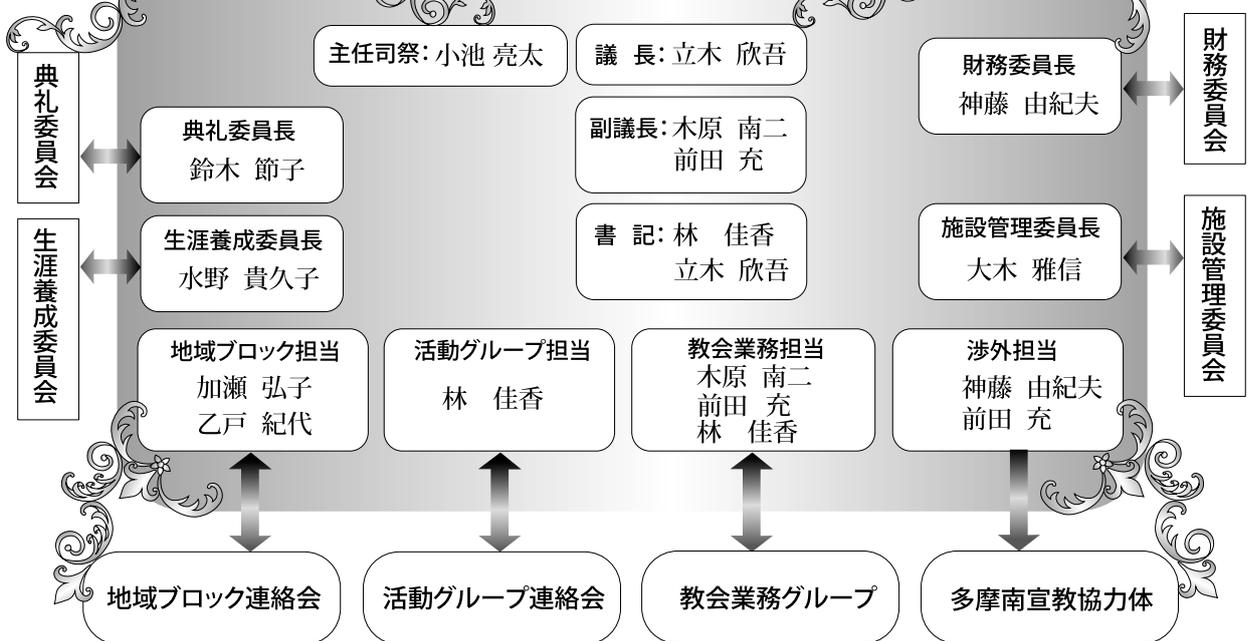
本年度の運営委員のみなさん

人生の中で一人ひとりに声をかけられている。この声に「ええ」植えられたところに咲く」

あなたのいるところに神はいる。列王記一九章、エリアが神の静かな囁き声をきいたように、沈黙の中に神は呼びかけられる。沈黙は大切。またペルシャ王キュロスによりイスラエルの民がバビロンから解放されたように、神様の御計画は計り知れない。その時々で恵みを与え、私達を動かしていく。どのように神様

(ページ5に続く)

2015年度の運営委員会



平成27年度 カトリック町田教会 実行体制 (I)

典礼委員会 (典礼委員長 兼 運営委員: 鈴木節子)

| 係 | 連絡担当 |
|----------|-----------------------|
| 聖歌奉仕グループ | 鈴木 節子・青木 共子 遠田 富与子 |
| 朗読手配 | 赤瀬 亮一・佐藤 昭子 |
| 奉 納 | 佐藤 昭子 |
| 典礼の花 | 結城 万紀子 |
| 香 部 屋 | 畠中 都 |
| ミサ進行係 | 伊藤 宏・小林 彰・山口 良樹 |
| 聖体奉仕者 | 島田 和人 |

※冠婚葬祭の連絡係 結婚式担当: 高尾 敬子
葬儀担当: 白井 みさ

財務委員会 (財務委員長 兼 運営委員: 神藤由紀夫)

| 係 | 業務内容 | 担当 |
|-------|--------------------|--------|
| 財源の確保 | 財政の管理 | 神藤 由紀夫 |
| 収入管理 | 郵便 | 林 茂 |
| | 銀行 | 小池 神父 |
| | 現金 | 定光 孝子 |
| 支出管理 | 現金出納(支払) | 田澤 三郎 |
| | 郵便振込 | 小池 神父 |
| | 銀行振込 | 坂井 剛 |
| 資産管理 | 資産台帳管理等 (リース含む) | 神藤 由紀夫 |
| データ管理 | 会計・決算データ管理 | 奥村 耕平 |

施設管理委員会 (施設管理委員長 兼 運営委員: 大木 雅信)

| 係 | 業務内容 | 責任者 | 委員 |
|------|---|-------|--------------------------------|
| 施設管理 | 中長期大規模改修及び修繕 小規模改修及び修繕・定期修繕 教会建設～建設後の教会施設・ 植栽の維持管理及びメンテナンス | 大木 雅信 | 荻津 兆秀・松村 潔・鈴野 将 池田 克久・小池 神父 |

生涯養成委員会 (生涯養成委員長 兼 運営委員: 水野 貴久子)

| 係 | 業務内容 | 責任者 | 委員 |
|------|----------------------|----------------|--|
| 生涯養成 | 信徒の育成・信仰の理解 靈性を養う | 水野 貴久子 | 赤瀬 亮一・加瀬 弘子・寺澤 圭子 林 佳香・岡野 道子・丸井 千尋 喜多 寿子・廣田 和之・小林 洋子 |
| 教会学校 | 土曜学校 | 吉田 光子 嶋田 弘志 | 保護者をはじめとする皆さんで構成 |
| | 日曜学校 | 三須 真理 坪山 明美 | |
| | 中高生会 | 島田 和人 | |
| | たまごの会(未就学児のお話会) | 小林 由里子 | 青木 重子・佐藤 千代子・佐藤 玲子 皇 恭子 |

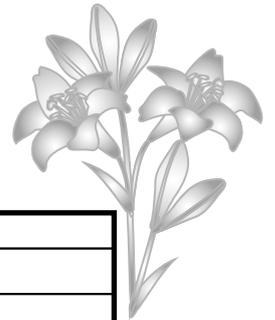
共同墓地委員会

| | |
|------|-------------------------|
| 準備委員 | 佐藤 毅・神藤 由紀夫・鈴木 節子・安藤 康弘 |
|------|-------------------------|

※正式に委員及び委員長が決まり次第お知らせします。

地域ブロック担当 (運営委員: 加瀬 弘子・乙戸 紀代)

| ブロック | 連絡担当 | ブロック | 連絡担当 |
|------|-------------------|------|--------------|
| 第1 | 圓島 久美子・北爪 敦子 | 第6-1 | 赤松 文江・茂木 瑠璃子 |
| 第2 | 石川 道子・乙戸 紀代 | 第6-2 | 河東 実・小溝 茂雄 |
| 第3 | 佐藤 和子・吉永 昌子 | 第7 | 橋村 元雄・藤波 由香 |
| 第4 | 芹川 和美・仁藤 芳栄・渡邊 礼子 | 第8 | 国友 雅子・水本 久子 |
| 第5 | 久出川 菊乃・小酒 由紀子 | 第9 | 名倉 理恵・名取 真知子 |



平成27年度 カトリック町田教会 実行体制(Ⅱ)

教会業務担当 (運営委員: 木原 南二・前田 充・林 佳香)

| 係 | 連絡担当 | 構成員 |
|------------------|------------------|---|
| 案 内 | 田澤 三郎 | 山口 広文・新納 春雄・立木 欣吾・赤瀬 亮一 大木 雅信・幾永 弘・瀧口 裕行・定光 善吾 安藤 康弘・荻津 兆秀・奥村 耕平・橋村 元雄 伊藤 時光・鈴木 亮作・小溝 茂雄・遠田 治正 中 永一 |
| ミサ案内 | 水野 貴久子 | 松本 亮英・佐藤 千代子・佐藤 和子・平川 ミエ子 神谷 富雄 |
| 日曜日受付 (転出入) | 山口 静子 | 越後 やしを・定光 孝子・田村 ゆり子・蛭町 真理 舟ヶ崎 美英子・山口 静子・坂井 美鈴・小林 由里子 佐藤 千代子 |
| 平日受付 | 水野 貴久子 | 池田 幸織・仁藤 芳栄・三上 昌子・水野 雄一 水野 貴久子・横塚 千枝子・横山 真弓・佐藤 由紀子 田中 力・大迫 祥子・大久保 珠美 |
| 土曜日受付 | 山口 静子 | 木村 洋子・坂井 美鈴・鹿内 容子・高尾 敬子 林 佳香 |
| 名 簿 (教会原簿・管財) | 橋村 元雄 (小池 神父) | 山田 恒雄(ソト開発)・富樫 和美 |
| 雷の子 | 中原 毅志 | 池永 廣美・小林 洋子・遠山 悦子・堤 貞夫 大久保 豊 |
| ウェブサイト | 小池 神父 | 丸井 千尋 |
| 週 報 | 高尾 敬子 | 坂井 剛・林 佳香・丸井 千尋・笠原 恵 |
| 月 報 | 佐藤 玲子 | |
| 図 書 | 横塚 千枝子 | 宇治 淳子・横山 浩美・井上 淑子 高橋 檀・石井 節子・酒谷 和子・三上 昌子 |
| 聖品販売 | 守田 紀美江 | 小池 裕子・舟ヶ崎 美英子・鈴木 節子 橋本 愛子・小林 洋子・秦 ゆう子・池永 廣美 |

各種対外活動担当 (運営委員: 神藤 由紀夫・前田 充)

| 担当 | 業務 | 業務内容 | 責任者 | 担当メンバー |
|----|-------------|-----------------|----------------|--------------|
| 渉外 | 教区関係 | 教区宣教司牧評議会 | 加瀬 弘子 | 多摩南宣教協力体より選出 |
| | 宣教協力体 関係 | 多摩南宣教協力体連絡会 | 神藤 由紀夫 前田 充 | |
| | その他 | 施設利用外部団体 その他 | 小池 神父 | |

町田教会被災地支援センター(センター長: 小池 神父)

| 業務内容 | 事務局長 | 参加メンバー |
|---------------------|-------|--------|
| 国内外の災害救済のために必要な援助活動 | 立木 欣吾 | その都度 |

2015年度 町田教会の主な年間行事予定



- 1月1日(木) 新年のミサ
- 1月11日(日) 成人の祝い・新年会
- 2月15日(日) 信者総会
- 2月22日(日) 四旬節黙想会
- 4月2日(木) 聖木曜日(主の晩さん)
- 4月3日(金) 聖金曜日(主の受難)
- 4月4日(土) 復活徹夜祭
- 4月5日(日) 復活の主日・お祝い
- 6月7日(日) 初聖体
- 7月31日～8月1日(金・土) 教会学校夏期キャンプ
- 8月15日(土) 聖母被昇天のミサ
- 8月30日(日) 避難訓練
- 9月27日(日) 長寿感謝のミサ
- 10月25日(日) 町田教会ヤコブ祭
- 11月1日(日) 町田教会合同追悼ミサ
- 11月8日(日) 宣教協力体合同墓参
- 11月15日(日) 七五三祝福式
- 11月29日(日) 待降節黙想会
- 12月5～6日(土・日) ゆるしの秘跡
- 12月24日(木) 主の降誕・夜半のミサ
- 12月25日(金) 主の降誕・日中のミサ

2015年3月7日

菅原師司祭叙階式



子供たちからの
お祝いの言葉



- おめでとうございます!!
これからもがんばって!!
(小二 小田えいみ)
- これから、しんぷさまになって
おめでとうございます。
(小二 岩間 大)
- おめでとうございます。
これからも、がんばってください。
(小四 池田 可憐)
- これまでありがとうございました。
これからもがんばってください。
(小四 加藤 瑠)
- しんぷさまになって
おめでとうございます。
(小六 岩間 歩実)
- 叙階おめでとうございます。
これからもがんばってください。
(小六 嶋田 直人)

東日本大震災から四年



▶東日本大震災から丸四年を迎え、東京カテドラルでは「思いつづける3・11」と題して、南相馬市出身のオルガンист青田絹江さんのパイプオルガンコンサートと追悼・祈念ミサが行われた。
(町田教会被災地支援センター)

犠牲献金
中高生会

- 2月1日 22,403円
(ペロニカ苑へ)
- 3月8日 9,206円
(ペロニカ苑へ)

編集部より

☆この号から口絵カットに大久保豊さんに加わっていただきました。新しいテイストをお楽しみください。

☆「雷の子」次号編集会議予定
6月21日(日) 09時30分

信者動静

2015年2月～4月

(個人情報のため、削除しています)